



業界の再建と雇用・生活確保へ

09春闘勝利で大幅賃上げを

交運労協セメント生コン部会と生コン産業政策協議会（交通労連生コン産業労働組合・全日本港湾労働組合大阪支部・全日本建設運輸連帯労働組合関西地区生コン支部）及び大阪コンクリート圧送労働組合は3月15日、中小企業の経営と働く者の生活確保をめざす中小企業運動を進展させ、生コンクリートの品質確保を求める自動車パレードを決定しました。

このパレードの主旨と目的は、①大阪府警による不当弾圧粉砕②建設、



パレードに先立ち、海遊館臨時駐車場で集会を開催

セメント、生コン、トラック産業におけるコンプライアンス（法令遵守）経営と同一価値労働同一賃金の確立、③著しい雇用破壊を跳ね返し、09春闘において大幅賃上げを勝ち取ることにあります。

第1に、協同組合の公平で健全な運営を求めます。過剰サービスを前面に押し出し、業者間の過当競争を再燃させようとする一部労組や大企業の思惑に乗らず、協同組合同士の歩調を合わせ、業界の大同団結をはかることが中小企業と労働者の生きる道であると考えます。違法な過剰サービスの撤廃と劣悪な労働条件の改善を行い、さらに協同組合内における直系企業優遇の不公平な運営実態の修正を行わなければなりません。

第2に、現在、政治・経済界は、「百年に一度の危機」と言われる経済不況のツケを労働者・弱者に押し付けています。私たち労働者は、「雇い止め」「非正規切り」などの攻撃で苦境に立たされ、大企業の都合のままに扱われています。一方、先の好景気で大手企業の内部留保額は12兆円以上とも言われ、その恩恵は労働者に還元されておられません。私たちは大企業と闘い、この09春闘で大幅賃上げを獲得して労働者に再配分するよう求めます。公平で平等

な共生協働の社会をつくり、働く者が安定した生活を確保することが平和につながるものだと考えます。

第3に、今春闘は、11年続いた5労組共闘が分かれ、3労組と2労組で闘われます。2労組の側は、大企業と闘わず、中小企業と労働組合が我慢すべきという態度です。私たち3労組（連帯・生コン産労・全港湾）は、大企業中心の政治・経済・産業を、闘いによって中小企業と労働者中心に変える方針です。この違いが、二つにわかれた理由です。

業界の健全な発展をめざして

私たちは、自らの要求のみならず、建造物と市民の安全性のためにも闘っています。生コンは、建設基礎資材として欠かせない製品です。品質低下の要因となる業界の過当競争を排除し、協同組合による共同受注・共同販売システムによる健全な業界の安定と発展をめざすこと。品質保証と安定供給・適正価格を三位一体で追求し、品質保証システムの確立、中小企業の「若手・アンソニエ会館建設、マイスター塾を通じた技能技術者の養成などを通じ、建造物と市民の安全を求めることを業界従事者の責務としています。